





修学旅行のシーソンを迎えるにあたりマンネリ化の打破や新コースとしての神戸市について、事長が立つて、学校教育における修学旅行にしたいと挨拶し、修学旅行の重要性を強調した。次いで後援者側から神戸国際観光

旅施上の参考になつた。

まず主催者側から、全協山本理一先生の御意見をお聞きしてより、協会の神崎氏が、修学旅行地としての神戸市が、地理的・経済的に適していける点を述べ、港を中心とした修学旅行の参考になつた。

都立青山高校長 成田 喜英

都立二ツ橋高校教諭 篠浦 進一

都立桜町高校教諭 小沼 常治

都立高輪高校教諭 木村 三郎

都立白鷗高校教諭 川合 元彦

都立武蔵高校教諭 天谷 康三郎

都立成徳高校教諭 竹内 長生

立正学園高校教諭 鈴木 照男

都立聖宮高校教諭 小林 隆志

足立第九中学校教諭 仁平 安信

国立第一中学校長 森本 良雄

小金井第一中学校長 大内 齊

調布中学校長 国分寺第一中学校長

梅丘中学校長 大野 進

羽田中学校長 間山 幸男

港区城南中学校長 梶田弥生衛

NHK学校放送部 次長 牛山 栄治

神戸市東京事務所長 高塚 啓

主催者側 山本調査部長 金沢 悅子

福井研修部長 西家 静雄

司倉 恒男

須賀 孝一

川合 輪送・宿泊の関係で関西方面で、京都や奈良を見学して更に

コースを延長することは、制限なく

間や輸送、経費等の関係上中学校

の方法を絶えず研究しています。

かうといつて必ずしもマンネリ化

しています。

川合 輪送・宿泊の関係で関西方面で、京都や奈良を見学して更に

コースを延長することは、制限なく

間や輸送、経費等の関係上中学校

の方法を絶えず研究しています。

</div